

大分市未収金徴収対策について

1 大分市未収金徴収対策会議の設置

平成18年度末における、市税や各種使用料などの未収金が、累計で85億9千4百万円に達していたことから、未収金の発生防止及び早期徴収を図るため、平成19年9月、大分市未収金徴収対策会議を設置し、同年11月、平成19年度から平成21年度までの3カ年の数値目標を設定し、その目標達成に向けて、研修会や法律講座等を通じて職員の意識改革や知識向上を図るとともに、各種未収金徴収対策を推進してまいりました。

2 目標達成状況

(1) 未収金徴収目標【目標達成】

【目標】平成18年度末における未収金累計額85億9千4百万円から3年間で27億6千7百万円を徴収する。

(単位:百万円)

	平成18年度末 未収金累計額	徴収額			合計徴収額
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
目標額	8,594	1,535	801	431	2,767
実績額		1,552	808	494	2,854
差 額 (実績額－目標額)		17	7	63	87

(2) 未収金発生防止目標【目標未達成】

【目標】平成18年度単年度の未収金額24億2千8百万円を基準として、平成19年度から3年間で5億7千5百万円の新規発生を防止する。

(単位:百万円)

	平成18年度単年度 未収金発生額	対18年度新規発生防止額			合計防止額
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
目標額	2,428	△ 125	△ 188	△ 262	△ 575
実績額		179	177	121	477
差 額 (実績額－目標額)		304	365	383	1,052

※ 未収金収納率の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
未収金収納率	18.16%	18.92%	19.58%

3 主な取組

- (1) 納税課や国保年金課に滞納整理担当班を設置するなど組織体制の整備
- (2) 財産調査、差押え、インターネット公売の実施
- (3) 強制執行や明渡し訴訟の取組状況のチラシの掲示、配布
- (4) 裁判所を通じた法的手続の実施
- (5) その他課税実態の把握強化

4 今後の取組

これまでの3カ年の取組及び成果を検証したうえで、新たな数値目標を設定し、目標実現に向けた取組を推進してまいります。